

# 四つ葉のクローバー

発行所

桐生厚生総合病院 中央検査部

責任者 伴 聡

理念 臨床検査の質的向上と信頼性の確保

2017年5月発行

## 生化学検査についてご紹介します

### 生化学検査って？

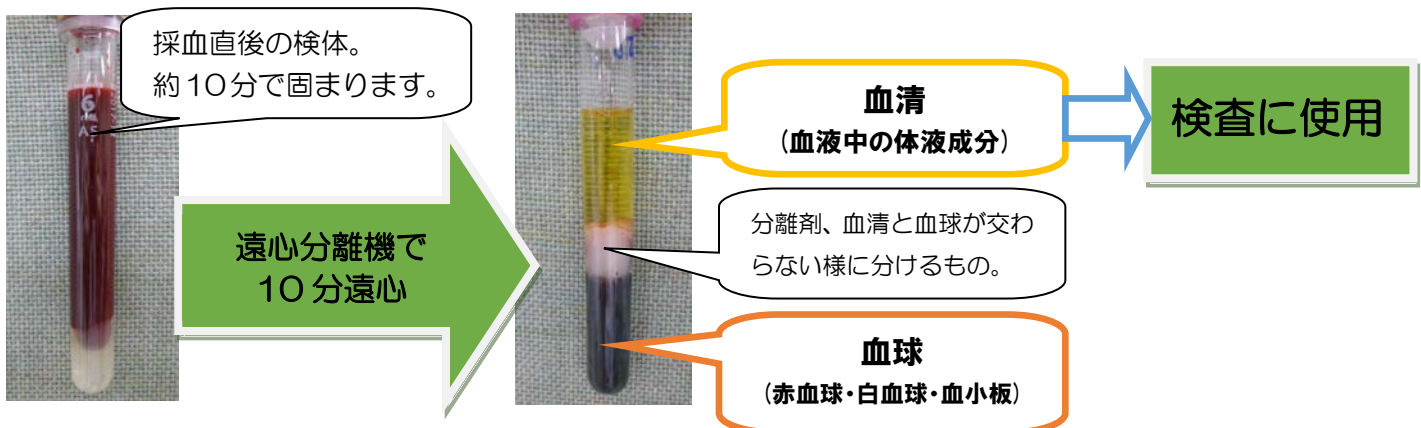
臨床検査の中で生化学検査とは簡単に言うと、血液中の蛋白質・糖質・ビタミンなど様々な成分を化学的に測定する検査で、臨床検査の中でも最も一般的な検査です。

肝機能、腎機能、心機能、電解質、糖代謝などの検査分野があり、これらの検査により疾患の診断や予防、治療経過の確認、健康状態の把握などに利用され医師の診察の大きな手助けとなっています。

～詳しい検査項目の基準値や内容の解説については、四つ葉のクローバー29号を参照ください～

### どんな検体で検査？

生化学検査の多くは主に血液中の液体成分である血清と呼ばれる成分を用いて検査をします。



### こんな血清も・・・



#### 白濁した血清

脂質異常症や食事の影響で白く濁ることがあります。食事は、検査項目により測定値に影響を与える場合がありますので採血前の食事や時間に注意してください。



#### 溶血した血清

細い血管からの無理な採血など赤血球が何らかの原因で壊れた状態。測定値に影響を与える検査項目もあるため、再度採血をお願いする場合があります。

## どんな検査装置で検査する？

測定方法や内容の違いにより検査機器も様々な装置があります。

### • 多項目自動分析装置



今年新たに導入された生化学検査の自動分析装置です。一つの検体で40以上の項目を同時測定することができます。24時間稼働し、夜間休日の緊急検査にも対応しています。尿や腹水などに含まれる生化学成分も同様に検査できます。

### • アレルギー検査装置



スギ花粉のピークも過ぎましたが、アレルギーの原因となる物質は人によりそれぞれ違い、実に多くの種類があります。当検査室では、スギやヒノキ、ハウスダスト、ダニ、ソバ、卵白、イヌやネコの表皮など30種類のアレルギー原因物質を対象に検査を実施しています。

### • C型肝炎関連検査装置



C型肝炎ウィルス量を測定する装置です。患者さんのウィルスの状態の把握や治療の効果を確認する為に行われる検査です。C型肝炎の治療は目まぐるしく進歩し、現在はウィルスを体内から排除できる患者さんも多くなりました。そのため、ウィルス量の測定は重要な検査となっています。

### • 血糖、グリコヘモグロビン検査装置



血糖検査は、採血直後の血糖測定用採血管をそのまま装置にのせることができます。遠心分離等の前処理が必要ないため、血糖とグリコヘモグロビン検査は、高血糖や低血糖の判断となる検査結果の報告が迅速に行えます。

日々の精度管理（機器から正確な結果が得られるかどうか確認試料を用いたチェック測定）やメンテナンス等、装置の管理もしっかり行い、迅速に正確な検査結果を臨床へ提供する為に努力しています。また、外部精度管理にも積極的に参加し、日本臨床検査技師会精度保証施設認証も取得しており高い評価を得ています。



「四つ葉のクローバー」は当院のホームページ（インターネット）で公開しています。

ホームページアドレス <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>